

だいじょうぶ
つながる
こそだて

だっこ通信

第45号 2024. 4月発行



環境&興味のマッチング

Y君のお話

Y君は保育園に通う5歳児。通園の道沿いに国際大学があります。その敷地にはたくさんのボールが立ち、世界中の国旗が掲げられています。Y君は毎日それをながめながら通っていました。そのうち国旗の色やデザインに興味をもち、国旗のことをもっと知りたくなってきました。親に国旗の絵本を買ってもらい、家でちょこちょこ見ているうちにカタカナで書かれた国の名前が読めるようになりました。国旗を見ただけでその国の名前も言えるようになりました。「あっ、これはパプアニューギニア！」

さらにその国がどこにあるか、世界地図を広げて場所を探すようになりました。大きくなったらいろいろな国に行ってみたいそうです。



Y君のように環境と興味がうまくマッチングすると、自らどんどん学びを広げていきます。好きなことに出会うと自分から行動していくんですね～。環境の与える影響は大きいなあと感じます。

【環境】



家の周りには昆虫がたくさんいて自然豊か
親が洋楽好きでいろいろな曲を流している
上の子がサッカー教室に通っている



昆虫が好きになり、虫の名前を覚え、知識が広がる
曲が流れると英語らしき発音で口ずさみ、踊っている
いつのまにかまねをして器用にボールを蹴っている

【子ども】



オンフーのつぶやき



幼いころは自分でいろいろな所に出かけられないから、行動範囲は限られているよね。でも、日々身近にある「もの・ひと・できごと」などの環境からさまざまな影響を受けていることは確か。そういう中で、子ども自身が「おもしろそう!」とか「やってみたい!」と思えるものに出会えたらラッキーかも……。マッチング大成功ってことだもんね。そう考えると、子どもが何に興味をもつか、楽しみ!

興味をもったり好きになったりすると、子ども自ら行動するようになるよね。逆に、親がこうさせたいと思っても、本人の興味がいまいちってこともある……。そんな時はどうしたらいいか迷うと思う。多少の困難はあっても頑張らせたいことなのか、そんなにイヤなら無理にやらせなくてもいいかな。とか。気持ちは外からでは見えにくいからね。だからこそ、相手を知り理解することが大切なんだね。



発行者：さくら市生涯学習課（担当 鈴木）